

## “今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

- ☆最初のISS構成要素打上げから2545日経過しました
- ☆第12次長期滞在クルーのISS滞在は37日経過しました
- ☆ISS動向

第12次長期滞在クルーのウィリアム・マッカーサーとバレリー・トカレフ両宇宙飛行士は、米国製宇宙服を着用し船外活動を行いました。

船外活動は、11月8日午前0時32分から午前5時54分まで行われ、進行方向左側のトラス(P1トラス)先端にビデオカメラを設置し、ISSの頂部であるトラス(P6トラス)からISS周辺の電位を測定するプラズマ電位測定装置(FPP)を取り外しました。マッカーサー宇宙飛行士は外したFPPをISS後方に投棄しました。FPPはおおよそ100日後に大気圏に突入し焼失します。

ISSの組み立て・保全のための船外活動としては63回目であり、マッカーサー宇宙飛行士にとっては3回目、トカレフ宇宙飛行士は初めての船外活動でした。

なお、11月2日に、ISSに人類が滞在して5周年を迎えました。これまでに10カ国から97人がISSを訪れ、29人が長期滞在クルーとして滞在しました。



ビデオカメラの取り付け



FPPを投棄するマッカーサー宇宙飛行士



ISSに滞在した第1次から第12次長期滞在クルーとミッションパッチ

## “「きぼう」最新状況”

## ☆「きぼう」日本実験棟運用管制システム試験

2005年10月28日に筑波宇宙センター(TKSC)の宇宙ステーション運用棟とNASAジョンソン宇宙センター(JSC)を結んだ「きぼう」日本実験棟の運用管制システムに関する試験が行われました。

TKSCにある「きぼう」運用管制システムとJSCのNASA側ISS管制設備であるISS/「きぼう」シミュレータを接続して各種データ伝送の確認を行い、実際の運用を想定したシミュレーションが行われました。

今回のシミュレーションは、3回に分けて打ち上げられる「きぼう」組み立てミッションの2回目が行われ、船内保管室と船内実験室の結合が完了したという設定で実施され、主に船内保管室内各機器の起動が行われました。船内保管室のヒータによる熱制御装置や、分電箱、煙感知器、照明装置、非常用の照明用電力供給装置など各機器の起動や、船内保管室の中から行う広報イベントなど、本番を想定したタイムラインに基づき試験を実施しました。

シミュレーション中にノード2(結合モジュール2)の直流変圧器や、分電箱、電力遮断装置の不具合を発生させ、その問題についての対処方法の検討や運用スケジュールの再設計など本番さながらのシミュレーションが行われ、問題なく終了しました。



試験中の運用管制室の様子

## ☆第6回船外活動手順開発試験終了

10月24日から11月4日まで筑波宇宙センターの無重量環境試験棟で行っていた第6回船外活動手順開発試験が、無事終了しました。試験は若田光一宇宙飛行士とNASAのデビッド・ウルフ宇宙飛行士によって行われ、試験期間中は多くのメディアが取材に訪れました。



若田宇宙飛行士

## “インフォメーション”

## ☆「第27回宇宙ステーション利用計画ワークショップ」開催案内

「ISS計画/きぼう利用の現状と有人宇宙開発の将来ビジョン」および「初期利用に続くきぼう利用の新たな展開」をテーマとして、ISS/きぼう利用者や一般の方々との議論を行うことを目的としてワークショップを開催します。なお、特別講演では、宇宙利用への新たな挑戦として、宇宙映像ビジネスや、スペースシップワンまでも視野に入れた実験機会の開拓について紹介いただきます。

- 開催日時： 12月7日(水) 午前10時～午後5時20分, 12月8日(木) 午前10時～午後5時30分
- 開催場所： 江戸東京博物館(東京都墨田区横綱1-4-1)
- 参加費： 無料 定員： 400名 主催： JAXA 共催： 文部科学省 後援： 総務省
- 詳細、お申し込み： [http://www.jsup.or.jp/frame/iss\\_ws.htm](http://www.jsup.or.jp/frame/iss_ws.htm)

問い合わせ先：宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>

Eメール [kibo-pao@jaxa.jp](mailto:kibo-pao@jaxa.jp)

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。